

女性の不平とよろこび

岡本かの子

青空文庫

女が、男より行儀をよくしなければならぬということ。

人前で足を出してはいけない、欠伸あくびをしてはいけない、思うことを云いつてはいけない。

そんな不公平なことはありません。女だつて男と同じように疲れもする、欠伸もしたい、云い度たいと思うことは沢山たくさんある。疲れやすいこと欠伸をしたことなどは、むしろ男より女の方がよけいかもしれない。それなのに、なぜ、昔から男は、食後でも人前でも勝手かってに足を出し欠伸をし、云い度たいことも云えるのに、女にそれが許ゆるされないのだろう。

外側をためてばかりいると、内側の生命が萎縮いしゆくしてしまう。

男が伸々と拘束なしに内側の生命を伸す間に、女は有史以来おき来おき圧おきえたためられてそれを萎縮いしゆくされてしまった。

生理的から観ても、女の肉体は男より支持力に堪えがたい、乳房の重み、腰部の豊満、腹部も男より複雑であります。

殊ことにこの特長の発達している私には食後の大儀なたいぎこと、客きやくにこの特長の発達している私には食後の大儀なたいぎこと、

人の前の長時間などは、つくづくこの女子にのみ課せられた窮屈うくつな風習ふうしゅうに懲こりて居います。

この頃ではこの議を随分自分から提唱ていしようして、乱れぬ程度でこの女のみしに強いられた苛酷かこくな起居ききよから解放されて居るには居ます。思い出しました。四五年前の与謝野家の歌会うたかいの時、その座のクインであった晶子夫人あきこが、着座ちやくざしばらくにして、上じょう

軀いを左方に退ひき膝ひざを曲まげてその下から一ひと脚あしを曲まげて右方へ出
 されました。夫人特有の真白すあしい素足すあしが、夫人の濃こむらさき紫すその裾すそから
 悠ゆう々ゆうと現あらわれました。

夫人は、これだけのムードを事もなげな経過まんざぶりで満座まんざのなか
 に行いわれたのであります。そして石井柏亭いしいはくていと平氣で談笑おして居お
 られました。

達手だてで自由で宜よい、と私は傍そばで思おもいました。いかにも文明国ぶんめいこくの、
 そして自由な新時代の女性にょせいとしての公平なポーズしたい（姿態したい）だと思
 いました。

ただ、女は何と云いつても、男より、外觀美げんかんびを保たなくてははいけ
 ない、これは理屈りくつより審美しんび的立場ていじやうから云いうのです。で、如何いかに、

きよそ
挙措を解放するにしても、常に或程度あるの収攬しゅうらんを、おのずから
自分の上に忘れてはいけません。

美的な放恣ほうし、つつましやかな自由、それはどうあるべきかと追
求されてもこまるけれど、とにかく以上の字義どおり何れいずの女性
も心術しんじゆつとして欲ほしい、結果はおのずから達成せられるであり
ましょう。

女も男と同じように働き、学び、考える時代となり、尚なお上述の
条件を男子側より否定されるならば、永遠に、女性の生命は内面
の不平等を堪こらえて男子を羨うらやみ続けるであります。

女性のよろこびを考えるうちに「化粧」が思い浮べられた。

男でも化粧する人はある。しかしそれに凝こったにしても到底とうてい

女の範囲はんいにまで進んで来ることは出来できなからう。

女でも化粧しない人がある。化粧しないでも美しい人がある。しかし、そういう人はまれである。そして、そういう人も化粧すればなお美しくなる。そして、そういう人も年が三十にかかればどうしても化粧の手を借りなければいくらか醜みにくくなる。

化粧するのが面めん倒どうでしないのは仕方しかたがない。化粧しないでも美しくいと自信をもって、しかもしないことを平気で居いて、他人のすることをまた他人の仕業しわざとして平気に眺めて居るのはいいが化粧しないのを自慢ぐにしたり、他の女がするのを軽蔑けいべつしたりするのは愚ぐである、傲慢ごうまんである。女性の何人なんびとも化粧をするのはよい、可憐かれんである。美女は美女なりに、醜女しこめは醜女なりに、いか

にも女性の心の弱さ、お洒落しやれさ、見栄坊みえぼうであることを象徴して好い。

美女が化粧よそおえれば一層いつそうの匂においを増まし醜女がとりつくろえば、女性らしい苦勞が見えて、その醜なのが許される。

ともあれ、女と生れた大方おおかたの女性にあつて、着物の柄、帯の色、おしろい眉まゆずみ、口紅を揃そろえてしばらく鏡の前のよろこび

(それにいらだたしさもどかしさは交まじるとも)女にのみ許されたそのよろこびを経験せぬものは少ないでしょう。

青空文庫情報

底本：「愛よ、愛」パサージュ叢書、メタローグ

1999（平成11）年5月8日第1刷発行

底本の親本：「岡本かの子全集 第十二卷」冬樹社

1976（昭和51）年9月20日初版第1刷発行

入力：門田裕志

校正：土屋隆

2004年3月30日作成

2013年10月5日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

女性の不平とよろこび

岡本かの子

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>